

日韓相互認識研究会 記録

(文責 加藤圭木)

第四回日韓地域史研究会 二〇二二年二月三日(木)

オンライン開催 (ZOOMを利用)

【報告】

梁知恵「韓国近代経済史の研究動向と『脱成長』という問い——二〇〇〇年以後の社会間接資本を中心に」

李正善「共同研究の方向性について」

【参加者】

〈韓国側〉

朴俊炯 (Park Junhyung) ソウル市立大学校国史学科助教

授、韓国近代史

梁知恵 (Yang Jiye) 韓国教育大学校韓国近代教育史研

究センター責任研究員、韓国近代史

李正善 (Lee Jeongseon) 朝鮮大学校歴史文化化学科助教、

韓国近代史

〈日本側〉

石居人也 (Ishii Hironari) 一橋大学大学院社会学研究科教

授、日本近現代史

高柳友彦 (Takayanagi Tomohiko) 一橋大学大学院経済学

研究科専任講師、日本近現代経済史

加藤圭木 (Kato Keiki) 一橋大学大学院社会学研究科准教

授、朝鮮近現代史

〈通訳〉

金庾昆 (Kim Yubi) 一橋大学大学院社会学研究科博士後

期課程、日本近現代軍事史・朝鮮近現代史、科

学研究費アシスタント

李相眞 (Lee Sanjin) 一橋大学大学院社会学研究科修士課程、近代日朝関係史、科学研究費技術員

第五回日韓地域史研究会 二〇二二年四月四日(月)

オンライン開催 (ZOOMを利用)

【報告】

高柳友彦 「近代日本における資源『開発』と開発主義政策」

朴俊炯 『村落』——記憶の場所」

【参加者】

〈韓国側〉

朴俊炯 (Park Junhyung) ソウル市立大学校国史学科助教
授、韓国近代史

梁知恵 (Yang Jihye) 東北亜歴史財団研究委員、韓国近代史

李正善 (Lee Jeongseon) 朝鮮大学校歴史文化学科助教、
韓国近代史

〈日本側〉

石居人也 (Ishii Hitonari) 一橋大学大学院社会学研究科教

授、日本近現代史

高柳友彦 (Takayanagi Tomohiko) 一橋大学大学院経済学研究科専任講師、日本近現代経済史

加藤圭木 (Kato Keiki) 一橋大学大学院社会学研究科准教授、朝鮮近現代史

〈通訳〉

金庾昆 (Kim Yudo) 日本女子大学非常勤講師、一橋大学大学院社会学研究科特別研究員、日本近現代軍事史・朝鮮近現代史

李相眞 (Lee Sanjin) 一橋大学大学院社会学研究科修士課程、近代日朝関係史

第六回日韓地域史研究会 二〇二二年六月七日(水)

オンライン開催 (ZOOMを利用)

【報告】

加藤圭木 「帝国日本の性売買と地域社会——日本の研究を中心に」

石居人也 「近代日本の〈地域〉はどのように問われてきたのか——ひとつの研究史整理として」

【参加者】

〈韓国側〉

朴俊炯 (Park Junhyung) ソウル市立大学校国史学科助教
授、韓国近代史

梁知恵 (Yang Jihye) 東北亜歴史財団研究委員、韓国近代史

李正善 (Lee Jeongseon) 朝鮮大学校歴史文化学科助教授、
韓国近代史

〈日本側〉

石居人也 (Ishii Hironari) 一橋大学大学院社会学研究科教
授、日本近現代史

高柳友彦 (Takayanagi Tomohiko) 一橋大学大学院経済学
研究科専任講師、日本近現代経済史

加藤圭木 (Kato Keiki) 一橋大学大学院社会学研究科准教
授、朝鮮近現代史

〈通訳〉

金庾毘 (Kim Yubi) 日本女子大学非常勤講師、一橋大学
大学院社会学研究科特別研究員、日本近現代軍
事史・朝鮮近現代史

李相眞 (Lee Sanjin) 一橋大学大学院社会学研究科修士課

程、近代日朝関係史

「日韓相互認識」国際セミナー(第31回「日韓相互認識」
研究会) 二〇二二年七月三十日(土)

オンライン開催(ZOOMを利用)

【報告】

金庾毘(日本女子大学非常勤講師、一橋大学大学院社会
学研究科特別研究員)

「戦時期植民地朝鮮における海軍特別志願兵制度
の実態——朝鮮人海軍特別志願兵の教育と配属
状況を中心に」

【通訳】

李相眞 (Lee Sanjin) 一橋大学大学院社会学研究科修士課
程、近代日朝関係史

第七回日韓地域史研究会 二〇二二年八月十日(水)

オンライン開催(ZOOMを利用)

【報告】

高柳友彦「戦後日本における鉱山反対運動と温泉地——
伊東温泉の事例に」

梁知恵「戦争と海——戦時下植民地朝鮮における水産業政策の変化と『海』という資源」

【参加者】

〈韓国側〉

朴俊炯 (Park Junhyung) ソウル市立大学校国史学科助教
授、韓国近代史

梁知恵 (Yang Jihye) 東北亜歴史財団研究委員、韓国近代史

李正善 (Lee Jeongseon) 朝鮮大学校歴史文化学科助教授、
韓国近代史

〈日本側〉

石居人也 (Ishii Hironari) 一橋大学大学院社会学研究科教授、
日本近現代史

高柳友彦 (Takayanagi Tomohiko) 一橋大学大学院経済学研究科専任講師、日本近現代経済史

加藤圭木 (Kato Keiki) 一橋大学大学院社会学研究科准教授、
朝鮮近現代史

〈通訳〉

金庾毘 (Kim Yubi) 日本女子大学非常勤講師、一橋大学

大学院社会学研究科特別研究員、日本近現代軍
事史・朝鮮近現代史

李相眞 (Lee Seunjin) 一橋大学大学院社会学研究科修士課程、
近代日朝関係史

第三二回「日韓相互認識」研究会

二〇二二年九月三日 (土)

オンライン開催 (Zoom を利用)

【報告】

李豊海 (一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程)
「新潟県事件をめぐる朝鮮人の調査活動——朝鮮
共産主義グループの動向から」

鄭歆耿 (一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程)
「朝鮮水電株式会社による『火田整理事業』」
金功熙 (一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程、日
本学術振興会特別研究員DC2)

「戦時『開発』計画と済州島社会」

【謝辞】

本雑誌は、日本学術振興会科学研究費基盤研究A『日

韓相互認識』研究の新展開」(18H03585、研究代表吉田裕)の成果である。

執筆者一覧

金 庾昆 日本女子大学非常勤講師

一橋大学大学院社会学研究科特別研究員

金 功熙 一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程

鄭 歆耿 一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程

『日韓相互認識』第二二号

二〇二三年三月一〇日 発行

「日韓相互認識」研究会編集委員

吉田 裕

糟谷 憲一

石居 人也

鄭 栄桓

加藤 圭木

高柳 友彦

若尾 政希

小川 和也

編集幹事

連絡先 〒186-8601 東京都国立市中二-1

一橋大学大学院社会学研究科・吉田裕研究室

한일상호인식

제12호 2023년

목차

전시기 식민지 조선의 해군특별지원병제도의 실태

——조선인 해군특별지원병의 교육과 배속 상황을 중심으로——

..... 김유비 (金 庾 毘) 1

식민지시기 제주도에서의 전시'개발'계획

..... 김공희 (金 功 熙) 55

'조선임정계획'과 화전민

——함경남도 신흥군 동산면에서의 화전정리사업을 사례로——

..... 정선경 (鄭 歆 耿) 95

한일상호인식연구회 기록..... 125

집필자 일람..... 130